

平成30年度

守山高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・教員の授業力向上により、確かな学力の伸長を図り、個に応じた進路指導による希望進路の実現に努める。
- ・中高一貫6年の発達段階に応じ、様々な学校活動の中で、豊かな心を育成し、人とつながる力を育む。
- ・生活習慣の確立、部活動、自主活動による健やかな体の育成により、自主性を育み、困難に耐える力を育む。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校経営についての明確なビジョンを示し、学校の特色化を推進している。	A	A	A
	学校としての重要な目標の達成度を定期的に確認し、課題の検討を行い、改善につなげている。	A	A	A
2 学習指導	教材や教え方にさまざまな工夫がなされ、生徒が満足する授業を展開している。	A	A	A
	家庭学習の習慣を身につけるよう指導している。	A	A	A
3 生徒指導	個々の生徒の思いや願いを大切にしながら、基本的な生活習慣と礼節の確立・規範意識の高揚に努めている。	A	A	A
	事故や問題行動発生の際、組織的に対応できる体制を整えている。	B	B	A
	いじめのない学校にするために、生徒の心に寄り添い、つながりを大切にしている指導をしている。	A	A	B
4 進路指導	個々の能力・資質の伸長につながる進路指導を系統的に行っている。	A	A	A
	一人ひとりの希望進路を保障する取り組みを行っている。	A	A	A
5 特別活動等	部活動の活性化を図り、学習と両立できるように指導している。	B	B	B
	自ら考え、自ら行動できる力の育成を図り、学園祭などの自主活動の振興に努めている。	A	A	A
6 学校図書館	生徒に必要な資料を提供できる学校図書館運営をしている。	A	A	A
	読書の面白さ、大切さに気づかせる教育をしている。	B	B	B
7 保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に努めている。	A	A	A
	保護者の協力を得るために、保護者に情報を伝え、連携を図っている。	A	A	A
8 人権教育	「協和」の精神を大切に、互いの人権を尊重し協力する学校風土の醸成に力をいれている。	A	A	A
	よりよい仲間づくりのための取り組みを数多く企画し実践している。	B	B	B
9 環境教育	生徒に環境について考えさせ、ゴミの少量化やリサイクルを行う指導をしている。	B	B	B
	環境保全や地域美化のためのボランティア活動への参画を推進している。	B	B	A
10 事務・管理	施設・設備の安全点検が定期的に行われている。	D	C	B
	文書管理や情報管理が適切に行われている。	B	B	B
11 その他 学校の取り組み	生徒や保護者から信頼され、満足される学校づくりに努めている。	A	A	A
	中高一貫教育を充実させるため、鋭意努力している。	B	B	A

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表

10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。

3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、

あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。

ただし、アンケートの結果等を機械的にA B C Dの評価に置き換えるのではなく、学校の現状を真摯に分析・検討し、今後の学校改善につながるよう、適切に評価すること。